

Rethink PROJECT



JT山形支社の サステナビリティの取り組み



2022年5月30日
日本たばこ産業株式会社
山形支社 岩尾 裕紀



- はじめに
- JTグループの全体像
- JTグループのサステナビリティ
- JT山形支社が目指していること／地域貢献活動の取り組み事例
- JT山形支社がこれからやっていきたいこと

話しのなかで、SDGsクイズ5問出題します！

- ・ 4 択形式のクイズになりますので、お手元のA・B・C・Dのボードを掲げて回答してください。
- ・ シンキングタイムは20秒、スマホ等での検索は禁止です。
- ・ 各クイズの正解・不正解はご自分でメモをお願いします。
- ・ 正解数上位の方から10名に素敵な景品をご用意しています。

□ 質疑応答

□ アンケートのご案内

自己紹介

岩尾 裕紀（いわお ひろのり）

- ・ 生年月日：1975年12月7日（46歳）
- ・ 出身地：千葉県
- ・ 家族構成：妻、息子（浪人生）、娘（高校2年）
- ・ 趣味：バンド活動、ランニング
- ・ 会社経歴：1999年 JT入社（仙台支店）
一般営業（コンビニ、スーパー、大型量販店、
パチンコ店、たばこ屋さん等）
本社（営業部門の研修や
マーケティングを担当）
東京都内各所での勤務を経て
2018年～マネジメント
2022年4月～山形支社 次長
- ・ 最近のトピック
今年の4月から初の単身赴任生活がスタート！



JT山形支社の愉快的な仲間たち

今回の講義に至った経緯

2020年、SDGsの取り組み連携を模索しているなかで、6月に山形大学様のSDGsに対する記事を発見。

8月には3者の共同宣言を発信。山形県内で先進的にSDGsを推進されている山形大学様に弊社からアプローチ！



2020年8月 山形県・山形大学・山形新聞社による
SDGs推進に向けた共同宣言



2020年11月 林田副学長との対談

【目的】

- JTのSDGsの取り組み理念（Rethink PROJECT）や取り組み事例が、学生の皆さんの参考になり、SDGsを自分ごとと捉え、自ら行動していくきっかけとなること

【私たちの期待】

- 学内外や身近のところで、自ら行動する意欲が向上している状態。
(+ α) JTのSDGsの取り組みに参画したい！意欲が向上している状態。

自分ごととして捉えると、どんないいことがある？

3人のレンガ職人（イソップ物語より）

1人目（Aさん）



『親方の命令でレンガを積んでいるんだよ』

2人目（Bさん）



『レンガを積んで壁をつくっているんだ。大変だが賃金がいいからやっているんだよ』

3人目（Cさん）



『完成まで100年以上かかる教会の大聖堂をつくっているんだ。完成すれば、多くの信者の拠り所となるだろう。こんな仕事に就けて本当に光栄だよ』

やることに対して、

「思考の質」が変わる

（目的意識、目標設定、強い意志）



「行動の質」が変わる

（前向き、率先、自発的）



最後のおまけで！



QUIZ 1

- ・ 4 択形式のクイズになります。お手元のA・B・C・Dのボードを掲げて回答してください。
- ・ シンキングタイムは20秒、スマホ等での検索は禁止です。
- ・ 各クイズの正解・不正解はご自分でメモをお願いします。



問題：SDGsとは（ ）年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。（ ）に入る数字は？

A: 2025

B: 2030

C: 2035

D: 2040

正解 B:2030

**「SDGs」は2015年9月の国連サミットで採択された
「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載の2016年
～2030年の15年間で達成するよう掲げられた国際目標です。**



QUIZ 2

- ・ 4 択形式のクイズになります。お手元のA・B・C・Dのボードを掲げて回答してください。
- ・ シンキングタイムは20秒、スマホ等での検索は禁止です。
- ・ 各クイズの正解・不正解はご自分でメモをお願いします。



問題：山形大学SDGsタスクフォース（YU-SDGs_TF）実施の2022年2月の学生向けアンケートでSDGsを「よく知っている」+「ある程度知っている」と回答した方は併せて何%だったでしょう？

A: 62%

B: 71%

C: 94%

D: 98%

正解 C: 94%

SDGsの認知度は、「よく知っている」+「ある程度知っている」=94.0%と9割超に。

特に、前回アンケート（2021年2月）と比較して「よく知っている」が17%→42.9%と大幅に伸びている

Rethink PROJECT



JTグループの全体像



事業展開

事業活動を通じて、様々な製品・サービスを提供し「企業価値」を向上させるとともに、「社会的価値」を生み出していきます。

たばこ事業
Tobacco Business



医薬事業
Pharmaceutical Business



加工食品事業
Processed Food Business



JTグループの全体像

2021年度実績 (2021年1月-12月)

売上収益

2兆 3,248億円

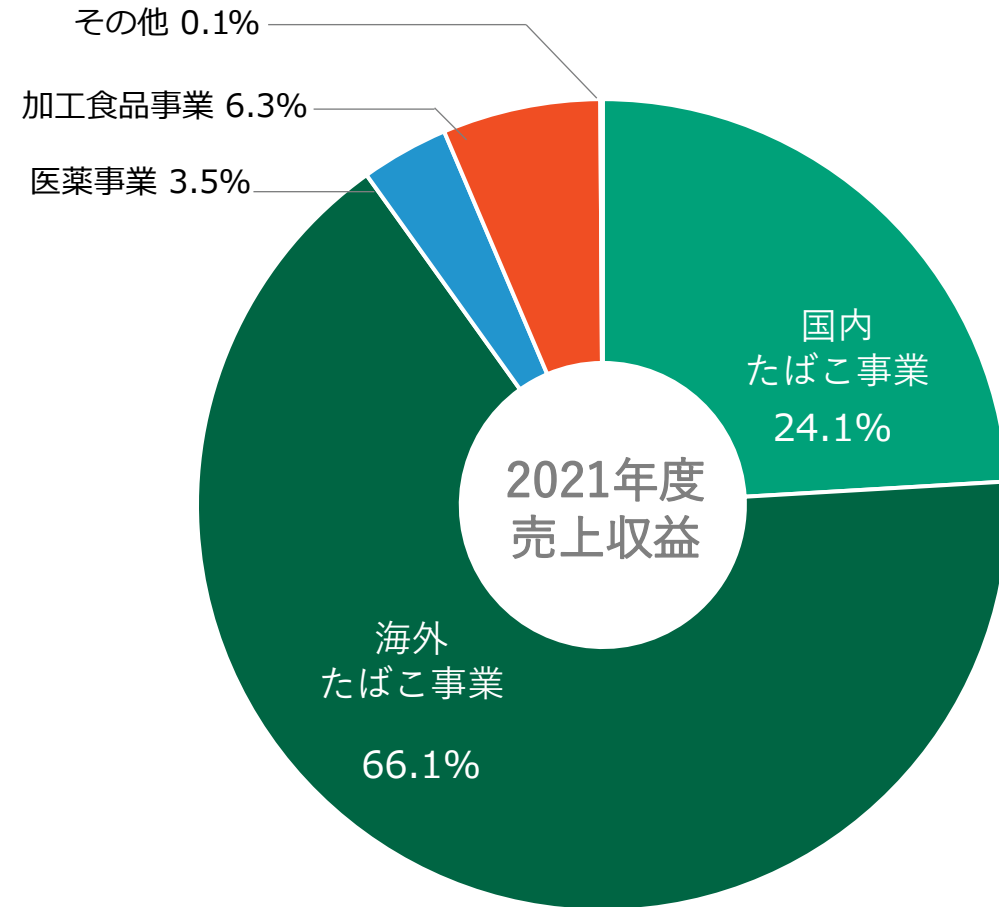
調整後営業利益

6,104億円 (財務報告ベース)

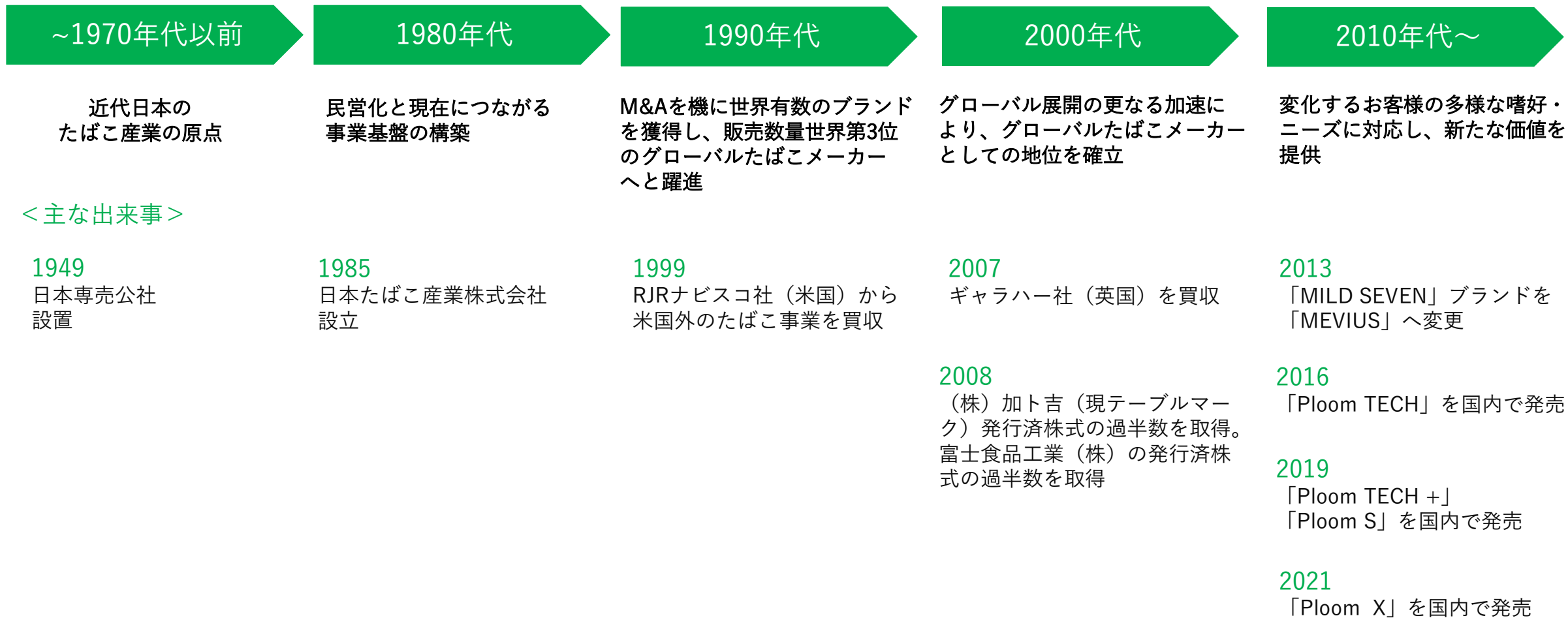
調整後営業利益 =

営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費
+ 調整項目 (収益および費用)[※]

※ 調整項目 (収益および費用) = のれんの減損損失
± リストラクチャリング収益および費用等



JTグループは、M&Aとオーガニック成長の両輪で、グローバル化と多角化を実現し、持続的成長を果たしてきました。



一歩ずつこちよいい世の中へ さまざまな取り組みを行っています

吸う人も吸わない人もこちよいい世の中へ

マナー向上に向けさまざまな啓発活動を展開

- 身近なシーンやテーマを数多く紹介するマナー広告を展開
- 「『ひろう』体験を通じて『すてない』気持ちを育てたい」という願いのもと、市民参加型の清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」を全国各地で実施

みなさまが快適に過ごせる分煙環境の整備

- 分煙に関するさまざまなご相談にお応えする「分煙コンサルティング活動」など、これまで培ったノウハウを活かし、分煙環境の整備に取り組む
- たばこを吸われる方と吸われない方が、ともに快適に過ごせる社会を目指した環境づくりに取り組む



マナー広告



ひろえば街が好きな運動



新宿駅東口前



虎ノ門ヒルズ

病気から世界の人々を救う「オリジナル新薬の創出」に挑み続けます

画期的な新薬創出のための研究開発

- 医薬総合研究所を中心に、主に「糖・脂質代謝」「免疫・炎症」「ウイルス」の領域で研究開発を推進
- 自社研究開発力の充実・強化
- 国内外大手製薬企業との連携

鳥居薬品（株）との協業

- JTが研究開発機能を、鳥居薬品（株）が製造・販売およびプロモーション機能を担う



横浜リサーチセンター（神奈川県横浜市）



アレルギー用薬品



高リッ血症治療剤「リオナ錠250mg」（2014年5月発売）

一番大切な人に、食を通じて笑顔あふれる豊かなときを提供します

多様な事業を通じて
日本の食卓の未来を創造

● 冷食・常温事業

テーブルマーク（株）において、冷凍麺・パックごはん・焼成冷凍パンといったステープル（主食）を中心に事業を展開



● 調味料事業

富士食品工業（株）を中心に、天然酵母等の天然素材調味料を中心とした幅広い商品をラインナップし、多岐にわたる分野でグローバルに展開



● ベーカリー事業

ベーカリーショップ「サンジェルマン」などの展開を通じて、素材や製法にこだわった焼きたてパンのおいしさを提供



お客様に安心して召し上がっていただくため
安全で高品質の商品を提供

フードセーフティ

- 国内外31の自社グループ工場においてFSSC22000を取得※し工場からお客様へ安全な商品を提供
※上記のほか、2020年に稼働開始予定の1工場については 認証取得準備中



フードディフェンス

- 商品に対する意図的な攻撃を防ぐため、独自のガイドラインを設定しセキュリティ面を強化



フードクオリティ

- 商品の品質やお客様満足度を高めることによる商品価値の継続的な向上



フードコミュニケーション

- お客様の要望に真摯に耳を傾け、工場見学などを通じた、双方向のコミュニケーションを推進



Rethink PROJECT



JTグループのサステナビリティ推進



- 一般的には・・・

サステナビリティ = 持続可能性、持続できること

➔ 本質的な思想として、二項対立や独り勝ちするということではない

- “企業”におけるサステナビリティとは・・・

持続的な経営・事業の持続性

➔ 事業を通じて、**事業にも・社会にも貢献すること**

JTグループは、責任ある地域コミュニティの一員として、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、幅広いステークホルダーとともに社会課題の解決に向けて取り組んでいきます。

JTグループは、包摂的かつ持続可能な地域社会の発展のため、以下三つの領域を、コミュニティインベストメントの重点領域として位置づけます。



格差是正



災害分野



環境保全



マルチステークホルダー・
パートナーシップ推進

包摂的かつ持続的な地域社会の発展を目指し2015年から2030年の間に、
600億円の投資を行い、従業員が30万時間のボランティア活動に従事することを目指します。

JTグループ社会貢献投資額



総額 **52億8,637**万円

46億8,823万円 金銭支援

4億7,821万円 マネジメントコスト

7,372万円 人的支援

4,621万円 物的支援

JTグループ従業員のボランティア時間



19,199時間

従業員のボランティア従事時間
(就業時間内)

※上記データは2020年度実績

国内で取り組むコミュニティインベストメント活動は「Rethink PROJECT」として、地域社会とのパートナーシップを基盤に、各施策を有機的に繋げることで更なる発展を目指しています。

「Rethink PROJECT」は「Rethink－視点を変えて考える－」をキーワードに、「地域社会」と「パートナーシップ」を趣旨に含む、地域の特性にあわせた様々な地元密着施策により構成しています。

Rethink PROJECT



Rethink PROJECT
2次元バーコード

Rethink Creator PROJECT



Rethinkフォーラム



ひろえば街が好きになる運動



SDGs 貢献プロジェクト



JTの森



エリア独自施策



東日本大震災復興支援



#かなさなはPROJECT



Mm PROJECT

etc...

「Rethink Creator PROJECT」は、当たり前を「Rethink」し、考えを「Create」できるクリエイターを育成するプロジェクトです。「学びの場」と「挑戦の場」を提供し新しい発想で地元をRethinkしていきます。

Rethink Creator PROJECT

視点変えポイント 地域 ▶ 地元



本質ポイント 地産地消

セミナー開催の風景

■ 対面型での開催 ~2019年まで



↑ 山形県南陽市での開催風景
↓ 作品



■ コロナ禍に配慮したオンライン融合型での開催 2020年~



東北エリアの活動事例

【2019年】

- ・宮城県 仙台市
- ・秋田県 秋田市
- ・岩手県 盛岡市
- ・山形県 南陽市
- ・青森県 弘前市

【2020年】

- ・宮城県 仙台市
- ・秋田県 秋田市
- ※オンライン開催

【2021年】

- ・宮城県 仙台市
- ※リアル&オンライン開催

いまだ多くの支援が必要とされる東北。未来をともに見つめ、復興に向けて応援活動を続けます。一方的な支援ではなく、未来へ踏み出す方々とパートナーシップを組むことで、ともに気づき、喜び、地域を盛り上げる取り組みです。

東日本大震災復興支援

視点変えポイント

一方向の支援 → 双方向の協働

本質ポイント 未来につなぐ

JT NPO応援プロジェクトについて

「コミュニティの再生・復興支援(第1期/3年)」、「コミュニティの自立支援(第2期/2年)」を経て、2020年より震災の経験を後世に伝え、防災減災につなぐ「震災伝承」に関わる支援を実施しています。



(参考)2013年からの累計助成金額



(参考)2013年からの延べ助成団体数



「たかたのゆめ」について

JTが開発・保有していた品種を、岩手県陸前高田市に寄贈し、オリジナルブランド米「たかたのゆめ」が誕生しました。



「たかたのゆめ」収量



「たかたのゆめ」生産農家数



*実績数値はすべて2020年実績

「JTの森」では地域の方々と協力して、「元気な森を作り上げる」活動に取り組みます。日常の生活から離れ、時間をかけて自然と触れ合うことは、自分を見つめ、周囲に感謝し、Rethinkするきっかけになります。

「JTの森」の所在地

活動実績 (2019年)

JTの森

視点変え
ポイント 人「と」自然 ▶ 人「も」自然



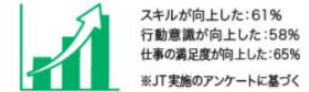
本質
ポイント コミュニティ形成



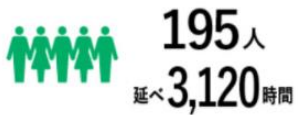
総協定森林面積



ボランティア参加従業員



「森づくりの日」に係った
従業員ボランティア人数・時間



- 各都道府県の企業の森づくりを支援する森林保全協定の枠組みを活用した支援を実施しています。あわせて、毎年春と秋には従業員ボランティアが、地元の方々と森林整備を行う「森づくりの日」を実施しています。

山形での活動事例

【JTの森 鶴岡】

- 山形県が推進する「やまがた絆の森づくり事業」に賛同し、山形県・鶴岡市・下川生産森林組合と「やまがた絆の森(JTの森 鶴岡)」協定を締結。2009年から10年にわたり協働で森林保全活動を実施。
- 「JTの森 鶴岡」の活動地は、県・市・生産森林組合が所有する約25ヘクタール。クロマツを主体とした海岸砂防林であり、庄内海岸からの強風や飛砂(ひさ)から地域の暮らしや農作物を守る機能を担っています。
- 今後は、健全で豊かな環境が将来の世代に引き継がれるよう、防風・砂防機能が低下した林帯の再生と、これまでに植栽した幼木の健全な育成を中心とした整備を行い、海岸砂防林の更なる機能発揮を目指します。



Q U I Z 3

- ・ 4 択形式のクイズになります。お手元のA・B・C・Dのボードを掲げて回答してください。
- ・ シンキングタイムは20秒、スマホ等での検索は禁止です。
- ・ 各クイズの正解・不正解はご自分でメモをお願いします。



問題：天然ブナ林の面積が、全国で一番なのは何県でしょう？

A：秋田県

B：和歌山県

C：青森県

D：山形県

正解 D: 山形県

- ・ブナ林は落葉広葉樹を中心とした天然森のことで、特に秋田県から青森県にまたがる白神山地は良く知られています。実はブナ林の面積で言えば山形県が日本一なのです。



「ひろう体験」が「すてない気持ち」を育てます。2004年から全国で様々な方たちと開催している「ひろえば街が好きになる運動」。街並みや催事を楽しみながら、思いやりの心で活動しています。

ひろえば街が好きになる運動



活動の風景



活動実績 (2021年4月4日までの累計実績)

参加してくれた人数



1,903,490人

集めたゴミの重量



950.5t

実施回数



2,062回

参加団体数



4,083団体

東北エリアの活動事例

【2019年実績】

- 青森ねぶたまつり (青森県青森市)
- 盛岡さんさ祭り (岩手県盛岡市)
- 仙台七夕まつり (宮城県仙台市)
- 花笠まつり (山形県山形市)
- 会津まつり (福島県会津若松市)
- 秋田エコ&リサイクルフェスティバル (秋田県秋田市)
- 定禅寺ジャズフェスティバル (宮城県仙台市)

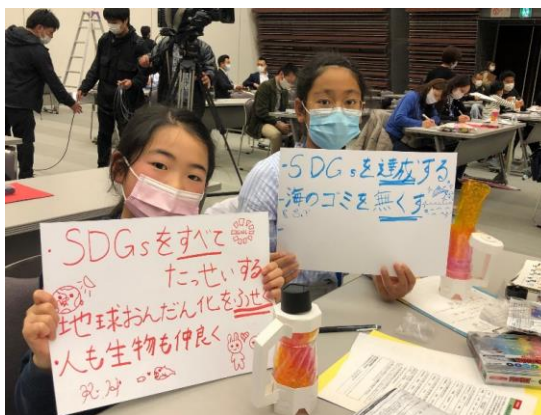
【2020年実績】

- ふくしまフェス (福島県福島市)



「SDGs貢献プロジェクト」では、さまざまな団体とパートナーシップを組み、地域社会の活性化につながる活動への支援を通じて、SDGsへの貢献を果たしていきます。

助成先事業の活動風景



2021年募集要項

対象事業	日本国内において実施する「格差是正」、「災害分野」、「環境保全」につながる事業
対象団体	原則、法人（営利／非営利等の法人格は問わない）
募集期間	年2回応募（①6/1～30、②12/1～31の期間にて応募受付）
助成期間	開始月から1年間（最長3年間の継続助成が可能）
助成金額	1法人1事業を対象 上限200万円（申請事業に関わる事業費及び人件費）

2021年度助成実績

全国42事業に対して、総額6,659万円の助成を実施

助成実績（東北エリア）

【2021年度】

- 国立大学法人山形大学（山形県山形市）
- 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議（宮城県仙台市）
- 一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと（青森県青森市）
- 特定非営利活動法人アキタたすけあいネットあゆむ（秋田県秋田市）
- 一般社団法人やまがた福わたし（山形県山形市）
- 株式会社福島中央テレビ（福島県郡山市）
- 認定特定非営利活動法人あおもりNPOサポートセンター（青森県青森市）

SDGs貢献プロジェクト

視点変え
ポイント CSR ▶ SDGs



「Rethink フォーラム」は全国各地で、それぞれの地域に根差したテーマの講演およびパネルディスカッションを開催しています。各テーマを主観/客観、歴史/流行など、様々な角度からRethinkし、新しい明日を考えていきます。

多彩なゲストとの パネルディスカッション



2021年の開催スケジュール（変更有）



開催実績（東北エリア）

【2021年】

- 山形県山形市
ゲスト：ぺえさん
- 岩手県盛岡市
ゲスト：萱野 稔人さん

Rethinkフォーラム

視点変え
ポイント

当たり前 ▶ 個性



本質
ポイント

地域の魅力
再発見

Rethink PROJECT



JT山形支社が目指していること 地域貢献活動の取り組み事例



JT山形支社が目指していること

ビジョンと地域貢献活動の位置づけ

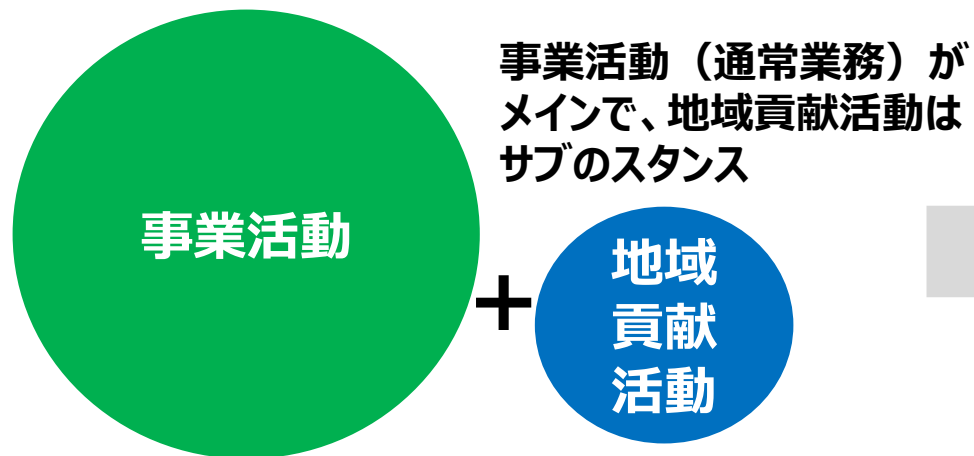
国内
セールス部門
ビジョン

事業と社会との“接地面”を担う部門として、
お客様の心の豊かさに資するサービスを提供し続ける

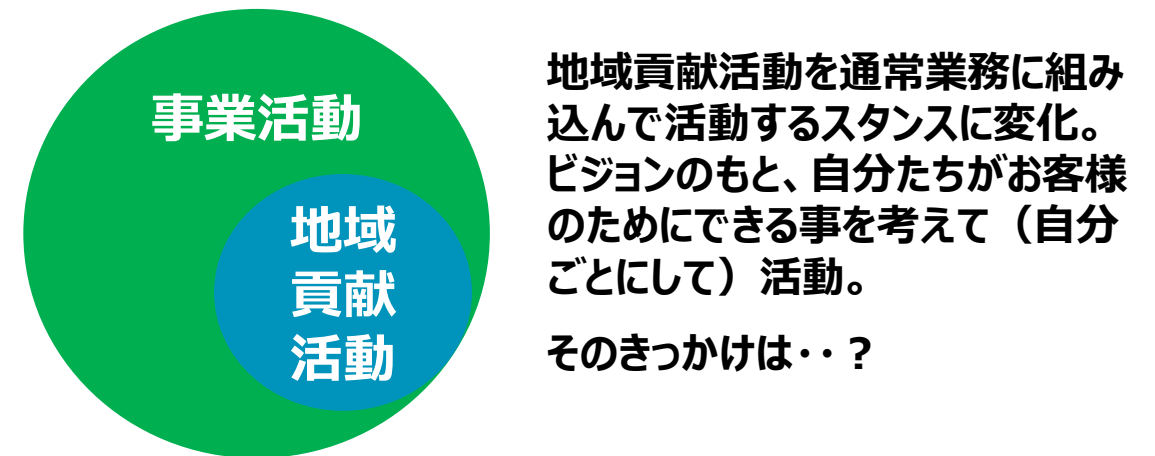
山形支社
ビジョン

山形県のすべての人が快適に過ごせる社会を実現する

2019年まで



2020年～



- 2019年10月 宮城県丸森町 災害ボランティアに参加



台風19号により阿武隈川が決壊。
丸森町は全域で甚大な被害を受けた。



山形支社の社員もボランティアに参加。
大きな被害に見舞われたにも関わらず、住民の方から、過分な感謝の言葉や笑顔を頂いた。
我々の仕事の原点は「人の幸せのため」と実感

● フードバンク山形（やまがた福わたし）様との連携

JT山形支社では、フードロスや格差是正の課題解決を目指し、やまがた福わたし様と連携した活動を実施しております。やまがた福わたしの実情に合わせて、倉庫貸与の他、配送応援、活動のPR支援などを行っております。

■ 倉庫貸与



福わたし様の「保管場所が不足している」実情をふまえ、会社倉庫の一角を貸与

■ 配送支援



回収ポスト設置のお得意様（営業先）から、回収された食品等を代行配送

■ 活動PR



営業活動先の企業・団体に取り組み紹介。ご協力頂いた食品等は会社回収BOXに集荷。



● ゴミ拾いSNSを活用した地域美化推進

JT山形支社では、提携先であるピリカ社のごみが見える化できるアプリ（ピリカ）を活用しております。ピリカでは、清掃活動の実績を対外的に発信できる他、サイト内でイベント情報のPRも可能です。

【ピリカとは】



清掃活動が“見える化”できるアプリ。企業や自治体の清掃活動を“見える化”するツールとして、世界130の地域、約80万人が利用しています。
(国内では、約65万人)

※山形県も昨年より参加団体となっています

■たばこ販売組合の皆様と



■七日町商店街の皆様と



● ポイ捨てから地域美化へ

街の環境美化を目的として、提携先であるピリカ社の“タカノメ”を活用し、街のポイ捨て調査を実施しています。調査から、ポイ捨てが多いエリアを可視化することで、地域の環境美化に向けた取り組みの提案を行っています。



ひろえば
街が好きに
なる運動

ポイ捨てが
多いエリアを可視化。
地域の環境美化に向けた
取組の提案を実施



ゴミのポイ捨て状況
を動画で撮影。
写ったごみの種類や
数をデジタル解析



- CSRイベントから地域の皆さまが参画するイベントへ

これまで、「ひろえば街が好きになる運動」や「JTの森」は本社主導により実施してきましたが、これからは山形支社主導で実施していきます。
山形県内のSDGs取組みの連携拡大を目的に、地域の皆さまに参画して頂ける企画を準備していきます。



ひろえば街が好きになる運動
(2019年8月花笠まつり)



JTの森鶴岡
(2019年5月)

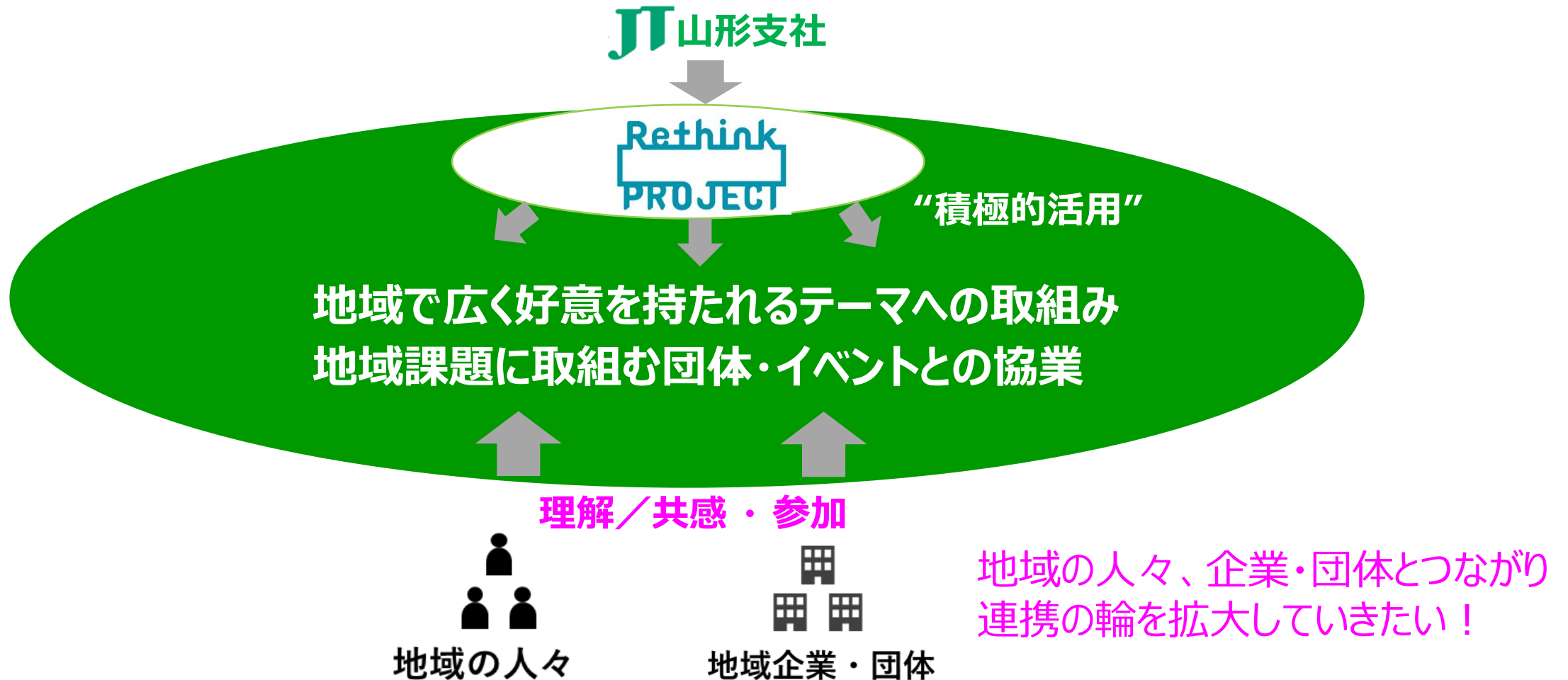
Rethink PROJECT



JT山形支社が これからやっていきたいこと



- 連携拡大に向けて、「Rethink PROJECT」の施策を通じたパートナーとの協業を推進



➤ 連携していききたい団体の筆頭が「山形大学」様の理由

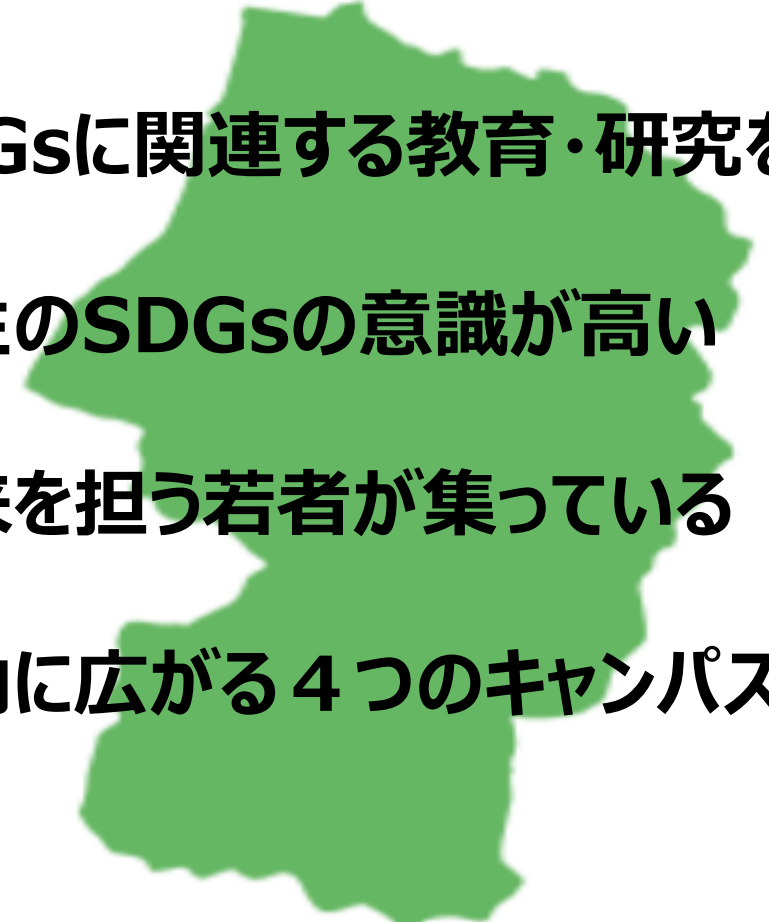


山形大学
Yamagata University

3つの使命

- 地域創生
- 次世代形成
- 多文化共生

基盤教育教養科目開設
Yu empowering with
YU-SDGs EmpowerStation

- 
- **SDGsに関連する教育・研究を推進**
 - **学生のSDGsの意識が高い**
 - **将来を担う若者が集っている**
 - **県内に広がる4つのキャンパス**



2022ビジョン
山形県のすべての人が快適に
過ごせる社会を実現する



SDGs重点課題



● 「SDGs 貢献プロジェクト」の活用

2021年度のSDGs貢献プロジェクトで、山形大学様への助成が決定、コンテストを実施しました



5月13日 SDGs貢献プロジェクト助成金交付式

7月～9月
SDGs取組み
コンテスト（募集）

10月
JT 重点3課題の
テーマを表彰・選定



11月～
選定されたテーマの
実践・具現化
(JT山形支社社員
がサポート)

1月～2月
コンテスト開催



1月29日 SDGs貢献プロジェクト_JT賞授賞式

皆さま、SDGs取組みコンテストへのご参加、誠にありがとうございました！

● 「ひろえば街が好きになる運動」の活用

コロナ影響により、地域イベントの開催は未定ですが、8月の山形花笠まつり、10月の米沢上杉まつりにはひろえば街が好きになる運動を実施する予定です。山形大学の皆さんの運営参加はいかがでしょうか？

■ 8月山形花笠まつり



■ 10月米沢上杉まつり



山形大学の皆さまと、ひろう体験を通じて、捨てない気持ちを育てていきましょう！

● 「JTの森鶴岡」の活用

開催日は、7/9（土）、コロナ影響等で延期の場合は10/22（土）となります。
今回から、地元の小・中学生の参加を数多く募り、地域の教育や社会に貢献できるやり方に変更する予定です。



地域への貢献活動の一環として、また、森林環境の研究や山形県民への自然の価値の伝承を目的に、JTの森鶴岡をご活用ください。ご参加お待ちしております！

山形県の持続可能な社会の実現に向けて

微力ながら、JT山形支社のメンバーは「山形県のすべての人が快適に過ごせる社会の実現」に向けて、皆、熱い想いを持って活動しています。山形大学の学生の皆さんと連携して取り組んでいければ、SDGsの取り組みは加速していくのではないかと考えています。

想いは、人を、
ひとりにしない。

会えなくても、人は思い合う、目の前にその人がいなくても、人は心に想いを馳せ、言葉にならない心の声にまで想いを届らせる。大切な人を案ずる想い。立ち向かう人を応援する想い。すべての人々の穏やかな生活を願う想い。どんなに離れていても、想いなら、一人ひとり、さまざまなかたちで、人のそばによりそうことができる。想いは、人を、ひとりにしない。JTは、そう信じています。

一緒に学び・考え
行動していきましょう。

QUIZ 4

- ・ 4 択形式のクイズになります。お手元のA・B・C・Dのボードを掲げて回答してください。
- ・ シンキングタイムは20秒、スマホ等での検索は禁止です。
- ・ 各クイズの正解・不正解はご自分でメモをお願いします。

問題：山形大学の3つの使命は、「多世代形成」・「多文化共生」と、もう一つは何でしょう？

A：地方創生

B：地域共創

C：地域創生

D：地域密着

正解 C: 地域創生

- 大学紹介のなかで、「3つの使命」と「5つの基本理念」が掲げられています。





QUIZ 5

- ・ 4 択形式のクイズになります。お手元のA・B・C・Dのボードを掲げて回答してください。
- ・ シンキングタイムは20秒、スマホ等での検索は禁止です。
- ・ 各クイズの正解・不正解はご自分でメモをお願いします。



問題：JTのSDGS重点項目の3つは、「格差是正」・「災害分野」と、もう一つは何でしょう？

A: 地域活性

B: 環境保全

C: ごみ削減

D: 地域美化

正解 **B: 環境保全**

- JTグループは、包摂的かつ持続可能な地域社会の発展のため、「格差是正」・「災害分野」・「環境保全」を、コミュニティインベストメントの重点領域として位置づけています。



格差是正



災害分野



環境保全

【おまけ】 自分ごととして捉えると、どんないいことがある？

3人のレンガ職人 10年後

1人目 (Aさん)



10年後
相変わらず文句を言いながら、
レンガを積んでいた

2人目 (Bさん)



10年後
賃金は高いけど危険の伴う
屋根の上で仕事をしていた

3人目 (Cさん)



10年後
現場監督として多くの職人を
育て、出来上がった大聖堂に
は彼の名前がつけられた！

やることに対して、

「思考の質」が変わる
(目的意識、目標設定、強い意志)



「行動の質」が変わる
(前向き、率先、自発的)



「成果の質」が変わる
(周囲・他者からの信頼、評価アップ)